問題 1 辺の長さが a である正方形 ABCD の対角線の交点 O を中心として,この正方形をその平面内で θ (0< θ <90°) 回転したものを A'B'C'D' とする。 はじめの正方形とあとの正方形との共通部分の面積 T を求めよ。また θ を変化させるとき,T の最小値を求めよ。

(1960 京都大)

解答 図のように交点 P, Q, R, S, Uをとる。△ROA∞△RSA′から

$$\angle RSA' = \angle ROA = \theta$$

 $\triangle OAR$ と $\triangle OA'P$ について、2 角とその間の辺がそれぞれ等しいから

 $\triangle OAR \equiv \triangle OA'P$

これから OP=OR、 ∠OPQ=∠ORQ を用いると

 $\triangle QPA \equiv \triangle QRA'$

同様にして △SUB≡△SRA′

ここで

 $AQ = A'Q = QS\sin\theta$, $SB = SA' = QS\cos\theta$

を用いると AQ+QS+SB=a から

$$QS\sin\theta + QS + QS\cos\theta = a$$

よって QS=
$$\frac{a}{\sin\theta + \cos\theta + 1}$$

面積について

△OPQ=△ORQ, △ORS=△OUS から

五角形OPQSU= $2 \times \triangle OQS = 2 \times \frac{1}{2} \cdot \frac{a}{2} \cdot QS = \frac{a}{2} \cdot QS$



$$T = 4 \times \frac{a}{2} \cdot QS = \frac{2a^2}{\sin \theta + \cos \theta + 1} = \frac{2a^2}{\sqrt{2}\sin(\theta + 45^\circ) + 1}$$

T が最小となるのは分母が最大となる $\theta = 45^{\circ}$ のときで、最小値は

$$\frac{2a^2}{\sqrt{2}+1} = 2(\sqrt{2}-1)a^2$$

